

I ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

児童が郷土に愛着と誇りをもち、自信をもって主体的に生きる力を育成する。
児童の資質・能力（自立と共生）を伸ばし、地域・保護者から信頼される開かれた学校となる。

II ビジョン（目指す学校像・自校の将来像）**【学校教育目標】**

自ら学び、ともに伸びる子どもの育成 ～「みんな たのしく かつこいい」学校～

【児童像】

- ・ 学び方が身に付き、主体的に学び考える子（自立：自由進度学習）
- ・ 仲間や地域を思い、協働して学ぶ子（共生：異年齢集団でのワールドオリエンテーション）
- ・ 自分を理解し、思いを表現して、目標に向かって取り組む子（生きる力）

【教職員像】

- ・ 子どもを理解し、資質・能力を伸ばす
- ・ 研鑽に努め、個別最適な学びを実現する
- ・ 教育公務員としての自覚をもち、誠実に職務を遂行する

III 現状分析**【確かな学力】**

- 江田島市標準学力調査では、昨年度の実績値より目標値を達成できた児童が減った中、5年生の理科では全員が目標値を達成することができた。その理由として、自分からやりたい、学びたいと意欲的に学習できたことが考えられる。「児童が意欲的に取り組む」授業づくりが必要である。また、時間内にテストが終わらない児童がおり、読解力を並行して付けていくことが課題である。
- 主に国語や算数で学習計画表にそって自由進度学習に取り組んだ。児童の学習満足度は 91.9%であった。自由進度学習では、ほとんどの児童が主体的に学習を進めている。

【豊かな心】

- 総合的な学習の時間の、異年齢集団による活動も充実してきている。
- 複式学級や異年齢集団による学習活動、合同学習、縦割り班活動に取り組んだことで、普段から学年を超えて遊ぶことが多くなった。みたか発表会に取り組んだことで、自分の思いやがんばっていることを表現し、友達に認められる場面が増え、児童の自信につながった。友だちの発表を聞き、友だちの頑張る姿をみて、寛容な心も育ってきた。
- 児童アンケートにおいて、「自分のよさが分かる」が 79.6 ポイント「友だちのよさが分かる」は 97.9 ポイント、「自分のよさが認められている」は 81.6 ポイントであった。「協力して取組めた」については、91.8%と前年比 16.8% 上昇した。総合的な学習にお時間の異年齢での活動が効果的であった。

【健やかな体】

- 生活リズムカードの実践や体重測定時の保健指導、保健だよりでの保護者啓発を実施した。朝食・就寝は中間評価より上昇したが、各項目すべてにおいて目標値に到達しなかった。
- 体力向上について、体力テスト 2 回目の実施できなかったため、R5 年度 1 回目と R4 年度の結果を比較した。ソフトボール投げや上体起こしのように、日頃の練習が必要な種目が課題となっている。一方で、持久走大会や長縄跳び大会などを企画したことで、休憩時間中の外遊び・運動量が増加したため、継続していきたい。

【信頼される学校】

- 保護者アンケートにおいて、「学校の教育活動に満足している」の項目で肯定的な評価が 96.0%で 100%に届いていない。とても満足していると回答した保護者も 56.0%であった。保護者の満足度が低下してきている。原因を分析し、引き続き、地域や保護者の信頼に応える教育活動を推進する。
- 職員は「個別最適な学び」を実現するために、イェナプラン教育を始め、自由進度学習の学習計画表の作成やワールドオリエンテーションのカリキュラムづくりに主体的に取り組んだ。教材や資料の蓄積も行われてきた。

IV 目標及び取組（全員で重点的に）

- ・ 自分で学習する力（自由進度学習の充実と継続）
- ・ 協働する力（生活科・総合的な学習の時間の充実）
- ・ 自立した生活を目指した取組の充実（生徒指導の充実）
- ・ 児童・保護者への誠実な対応と積極的な情報発信

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
<p>【確かな学力】</p> <p>児童の学び方の変革を促し、学力・学習意欲の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に学習する態度を育てる。 ・ 児童の理解程度や興味関心に応じた学習を展開する。 ・ 児童一人一人の学びの段階に応じた学力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別最適な学びの実現（≒自己調整力をつける）のため、学習計画表をもとに自立学習、自由進度学習に取り組む。児童の選択と決定を大事にし、主体的に学習に取り組む児童を育てる。 ○ ICT を積極的に活用するとともに、個々の理解や進度に合わせて AI ドリル（Qubena）やタブレットドリル等を効果的に取り入れ、自主学習を深化させる。 ○ 単元テスト毎に、目標点数を設定する。また、実際の点数を比較し自分の学びについて振り返る。 ○ 読書に親しませ、読書量を増やす。（読書環境の充実）
<p>【豊かな心】</p> <p>協働を基軸とした人間関係を育成するとともに、地域を愛する気持ちを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働的な体験活動を推進し、協働する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海をテーマとした生活科や3年生以上の異年齢集団による総合的な学習の時間を充実させる。 ○ 生活科や総合的な学習の時間に地域とのつながりを意識した探究的な課題を設定し、体験的な異年齢合同学習を行う。 ○ 縦割りグループによる活動、集団遊び、小中合同の活動等を積極的に設定する。 ○ 活動後に振り返りと肯定的相互評価活動を実施する。
<p>【健やかな体】</p> <p>生活習慣の基礎を培うとともに、児童の体力を向上させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立させる。 ・ 体力・運動能力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣定着のための保健指導を行うとともに、保護者啓発に取り組む。 ○ 児童が意欲的に活動するように、マラソンや長縄など、イベント的な活動を仕組む。 ○ 授業前に体力の課題に即した、サーキットトレーニングを取り入れる。 ○ 体力づくりコーナーを設置する。
<p>【信頼される学校】</p> <p>保護者・地域からの信頼に応える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や地域が協働しやすい環境をつくり、学校満足度を向上させる。 ・ 働き方改革をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動への取り組みを開始する。 ○ 学習の成果を保護者・地域に発信する。 ○ 児童・保護者に対して丁寧な対応を行う。事後、報告・連絡・相談・確認を確実にを行う。 ○ 学校だより、学級通信、保健だより、classroom、HP等により、学校や児童の活動の様子を分かりやすく発信する。